

よこすか育成通信

題字：横須賀市長 吉田 雄人

横須賀市青少年育成推進員連絡協議会

がんばってます!! 非行防止キャンペーン

内閣府では、7月を『青少年の非行・被害防止全国強調月間』、11月を『子ども・若者育成支援強調月間』と定め、子ども・若者育成支援と非行・被害防止に関心を高める取り組みをしています。これにあわせて横須賀市青少年育成推進員連絡協議会では【非行防止キャンペーン】をおこなっています。

★.。.:*°.° ★.。.:*°.° ★.。.:*°.° ★.。.:*°.° ★.。.:*°.° ★.。.:*°.°

11月13日 10時 京急田浦・安針塚駅周辺

田浦中学校区 35名

配る人受け取る人も顔なじみが多く「今日は何ですか?」「非行防止キャンペーンです!」この会話が大事なのだと思いました。

小さな町で行うキャンペーンの意味を、参加者・町内の人々が感じ取ってくれたのではないのでしょうか。(土師 功)

11月13日 11時 大楠山入口交差点周辺

大楠中学校区 28名

当日は、大楠中学校の生徒やPTAの皆さん、少年補導員の応援をいただき、道行く人々にチラシを配布しながら青少年の非行防止を呼びかけました。声をかける人もかけられる人も和やかで優しい笑顔が印象的でした。

(牛越 竜夫)



11月13日 13時 衣笠駅周辺

衣笠・池上・武山中学校区 36名

土曜日というのに衣笠商店街の往来は少なかったようです。にもかかわらず高校生の応援は心強く、彼らが配るとキャンペーングッズもすぐになくなり、大助かりでした。

衣笠中学校区の地域と学校との太いパイプ、連携の賜物だと感じました。(市川 仁)

11月13日 13時 浦賀駅周辺

浦賀・上の台・鴨居中学校区 37名

中学生・警察官・少年補導員などが道行く人々に青少年の非行防止を呼びかけ、関心を持っていただきました。短い時間でしたが、大変有意義でした。(竹内 ゆり子)

11月13日 16時 北久里浜駅周辺

公郷・岩戸・大矢部中学校区 55名

夕方のせいか小さな子どもさんが少なく、毎年すぐに無くなる風船が最後まで残っていましたが、たくさんの生徒さんに参加していただき、楽しく無事に実施することができました。(小林 正和)

11月20日 10時 YRP野比駅周辺

野比・長沢中学校区 39名

初めの頃は、先を急ぐ通行人に圧倒され、照れもあり上手に手渡せずに苦戦していました。じきに元気よくあいさつできるようになると、キャンペーンの内容と配布物の簡単な説明がスムーズにでき、要領よく手渡せるようになりました。(横関 由幸)

11月27日 10時 京急久里浜駅周辺

久里浜・神明中学校区 49名

初めは小さかった声かけも、10分経つと自信に満ちた大きな声となり、差出したチラシとティッシュを受け取ってもらえなくても笑顔でぺこりとお辞儀する中学生。子どもを見つけると自らかけ寄って風船を手渡し『ありがとう』の言葉にニッコリ笑顔の小学生。そしてキャンペーン終了後の感想は、皆笑顔で『楽しかった!』とても爽やかに微笑ましい素敵な1時間でした。(手塚 恵美子)



第5回中学校区対抗ウォークラリー大会

12月12日(土)、穏やかな晴天の中『第5回中学校区対抗ウォークラリー大会』が大楠地区で開催されました。

総勢223人が参加。スタッフとして育成推進員67人が協力しました。



長沢中学校区

初めて大楠中学校、大楠の地域に行ったので、たくさんの発見ができました。なかでも一番驚いたのは、コースで通った川にアユが生息していると知ったことです。水も澄んでいて、石を渡ったりと、自然をいっぱい感じることができました。優勝できたので、なおうれしいです。中学校生活の楽しかった思い出の一つとなりました。



上の台中学校区

僕たち、上の台中A・B・Cチームは、このウォークラリー大会を通して何より仲間との協力の大切さをとてもよく学びました。それと同時に、大楠の町をウォークラリーできたことをとても感謝しています。

大楠の山は緑がすごくきれいですし、川の水も透き通っていてとても豊かな気持ちになりました。この大楠の町のきれいさをこのまま維持してほしいです。

来年、僕たちは受験シーズンとなるため、この大会への参加は厳しいかもしれませんが、是非後輩たちに出場してもらい横須賀のきれいな町を探索してほしいと思います。



大津中学校区

今回のコースは自然が豊かでとても新鮮な気持ちで歩くことができました。歴史的な建造物も多く、郵便制度の父と言われた前島密の墓や、阿弥陀三尊像の見学は、とても勉強になりました。今回のウォークラリーを通して仲間との団結を深めることもでき、とても良い経験になりました。

大楠中学校区

今回のウォークラリーに大楠中学校では、バレー部が参加させてもらいました。開催地が大楠であったため最初は「勝とう!」という気持ちでいっぱいでした。しかし、いざ問題を解いてみると、地元なのに分からないことがたくさんありました。同じチームだった子と意見を出しあったり、普段あまり意見などを言わない子も積極的に参加していて、とても良い思い出になりました。

楽しいウォークラリー、ありがとうございました。



田浦中学校区

晴天のもと、仲間とウォークラリーに参加しました。はじめて行った大楠で歴史ある浄楽寺の仏像を見、川で石遊びをし、郵便の父と言われた人の名前を覚えたり、108の階段を声をあわせて登ったりと、とても楽しみながらクイズの答えを考え、完走できました。

出発の大楠中にもどっておいしいトン汁やおにぎりを食べ、答え合わせの正解には大声を上げ、間違っていたところには???

私達も楽しい行事に参加しフォローして下さった方のように次はサポート側になってみたいと思いました。(行きにバスの中から見た富士山はとてもきれいでした)

☆ 自然&歴史 探訪 in 大楠

育成研究部会 佐藤弘治

身近な街の新たな発見と、仲間意識や地域間交流を持つ場として企画された「第5回中学校区対抗ウォークラリー大会」が冬晴れの12月12日、大楠地域で開催され15中学校、29チーム、151名のエントリーの中、タイムとクイズを合わせた競技が行なわれました。

前田川遊歩道、立石、浄楽寺など豊かな自然環境と、歴史文化を併せ持つ大楠の魅力を短時間で体感できるコース作りや、コース内

を注視することがヒントになるように設問するクイズ案に苦慮しましたが、ゴールして来た子どもたちの笑顔と、達成感や連帯感を得た姿を目の当たりにし、全チーム途中棄権も無くゴールができ、猛暑の中下見を重ねた苦労を忘れ去ることができました。

ウォークラリーに「参加して良かった」と、子どもたちの記憶に残る大会であったことを願っています。

運営にあたり、大会会場の大楠中学校はじめ、地元の皆様、引率頂いた先生方の多大なご協力に感謝します。



☆ わんぱくフェスティバル

10月24日 県立保健福祉大学

実行委員会主催に移行して2回目の「わんぱくフェスティバル2010」が盛大に開催されました。このわんぱくフェスティバルは、市主催時代から通算27回目で市民の方からも「わんぱく」の呼び名で親しまれています。

当日は少し肌寒い陽気でしたが、会場の中はスタッフや約4000人の来場者の熱気で盛り上がりました。

印象的だったのは、スタッフがみんな、ここにこして自分自身も楽しんでいることでした。その笑顔につられるように子どもたちもニコニコして楽しんでいました。中央通路では、紙ひこうき、折り紙、輪投げなど昔懐かしい遊びや、フライドポテト、わたあめ、焼きそば、そして一番人気のチョコバナナなどの模擬店が出店され、どのコーナーも長蛇の列でした。

このほかには、地域の伝統を守る囃子保存会のお囃子、雄大なアンデスの自然を連想させるアンデス音楽、壊れて動かなくなってしまう大切なおもちゃをその場で直す「おもちゃの病院」など、楽しい催しがいっぱいでした。

ステージでは、ダンスやソーラン、吹奏楽などの素晴らしい発表が、次々に披露され会場には盛大な拍手が鳴り響いていました。会場で小学校3年生の女の子に感想を聞くと「毎年来ています。とっても楽しい。来年もまた来たい。」と目を輝かせて答えてくれました。実行委員長の芦沢さんは、「各団体の協

力でここまでやってきた、来年もまた皆さんに笑顔で会いたいですね」と素敵な笑顔で答えてくれました。(牛越 竜夫)

わんぱくフェスティバル 2010

10月24日(日) 10:00~15:00 県立保健福祉大学

入場無料

屋内では…

- 子どもたちのステージ発表
- 中学校吹奏楽
- 青少年団体コーナー
- おもちゃの病院 (おもちゃの修理受付ます) など

屋外では…

- マジックショー
- メイボールダンス
- 中南米音楽ライブ
- 模擬店コーナー など

★ご不用になった楽器 (鍵盤ハーモニカ・ソプラノリコーダー・笛・カスタネットに属する) をお持ちください。カンボジアの子どもたちに送ります。

★来場者用駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

★関係者以外の撮影はご遠慮ください。

★ゴミのお持ち帰りにご協力ください。

お問い合わせ： 実行委員長 芦澤 090-4835-8745

◆主催：わんぱくフェスティバル2010実行委員会 ◆後援：横須賀市／横須賀市教育委員会／横須賀商工会館

☆ 視察研修

2月2日 川崎市子ども夢パーク&県警本部



8時45分定刻通り20名の育成推進員を乗せて、バスは出発。

川崎市子ども夢パークにおける取り組みの説明がNPO法人フリースペースたまりば理事長・川崎市子ども夢パーク所長西野博之さんよりありました。

開設時間は午前9時から午後9時まで、この施設は主に心に問題を抱えている方たちを対象として「ケガと弁当は自分もち」やりたいことにチャレンジ。

「自分の責任で自由に遊ぶ」プレーパークでは「作って遊ぶ、こわす」「ナイフも使わせる」壊すことが大切で、ストレスを発散しないと大人になって自分の体を傷つけたり、壁を壊したり、他人を傷つけることがあります。

自己肯定感を育む居場所づくり「生きている」ただそれだけで祝福されるそんな場をみんなで作る、すてきな施設でした。

神奈川県警察本部視察では、交通管理局と通信司令室を見学しました。(萩原 康子)



☆ 神奈川県青少年指導員大会

11月14日 川崎市高津市民会館大ホール

最初にこれまで永年の貢献が認められた62名の指導員の表彰式が行われ、横須賀市からは、坂本中学校区の安藤隆正さんと久里浜中学校区の宮崎照美さんが受賞されました。心よりお祝い申し上げます。



このあと「情報化社会の中の子どもたち」～知っていますか？子どものネットあそび～と題し、川崎市PTA連絡協議会ホームページ運営顧問の田島和彦さんの講演が行われました。

インターネットは非常に便利ですが、それを順法性のない人間に悪用され、被害を受けている人が多いようです。ネット上での匿名性がウィルス、スパイウェア、ネット盗聴、なりすましなど色々な脅威を高め、大人だけではなく、子どもたちの間でも問題になっています。

特に、子どもたちでも簡単にできてしまう「なりすましメール」では、いじめの対象児童・生徒に他人のメールアドレスになりすました中傷文を多数送りつける等陰湿ないじめが増え、被害者は孤立し追い詰められ登校できない状況に至ってしまうケースも少なくありません。

今やネット道具は身の回りにたくさんあります。子どもたちにゲーム機、携帯電話等を与える前に、まず大人がその危険性を理解し、彼らに働きかけることが大切であると痛感いたしました。



(渡辺 美子)

♪ ゆうやけこやけ ♪

昨年の暮れの出来事です。

街のデパートで「Nさんですよね？」と声をかけられました。若い女性でした。思い出せないでいると「地域行事の中学対抗バレーボールでお世話になったKです！」約10年ぶりの再会！「昨年からのこのデパートで働いています！」中学時代の明るい笑顔を思い出しました。青少年指導員時代の行事ですが、学区対抗中学生バレーボール大会のメンバーだった子でした。青少年育成推進員の仕事って、地域の小中学生と、地域の先輩として関わっていくことに尽きる気がします。老人から小中学生まで、顔見知りになって、地域の中で長く付き合い、支え合っていくそんな関係を作れると素敵ですね！地域の交流を学んだその子どもたちが、次の地域の中心になってくれることを更に夢見ています。(Y. N)

編集後記：

青少年育成推進員の改選期である今年度、新任者57名が加わり、自分たちの思いを積極的に組み入れてほしいとの熱意が、さまざまな活動の取材を通じて感じられました。この熱意を、多くの方にお伝えし、ご理解いただけるよう、ここに「よこすか育成通信10号」を発行します。

(編集担当 小川 輝夫)

「よこすか育成通信」第10号

発行/横須賀市青少年育成推進員連絡協議会

会長 安藤 隆正

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

横須賀市役所こども育成部

こども青少年企画課内

TEL 046-822-8223